



きゅうしょくだより

令和5年1月 みなみかせ保育園

新年あけましておめでとうございます。

今年も子ども達が、給食を楽しめるように心を込めて作りたいと考えています。



年始の行事と食べもの

お正月とは・・・

年の初めに「神様」を迎え、今年1年の家族の健康と繁栄を祈り、お供え物（おせち料理）をして新年をむかえられたことに感謝し、家族そろっておせち料理でお祝いする行事です。



鏡開き

11日、お供えしたおもちを下げ、割ってお汁粉に入れ食べると運が開けると言われています。

小正月

15日、この日までが松の内として正月の締めくくりの日です。朝に小豆粥を食べる習慣があります。



七草粥

7日の朝に七草（せり・なすな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すすな・すすしろ）をおかゆに入れて食べます。

お餅など、小さい子どもには食べにくい料理もありますので、大人と一緒に食べながら見守りましょう。



「よいしょー！」もちつき大会

12月16日は毎年恒例のお餅つきでした。4・5歳児クラスの子ども達は「よいしょー！」と元気に声をあげながら杵を手に一人一人餅つきをしました。つきたてのお餅を触る機会があり、「べたべたになっちゃった」と手にくっついたお餅を見せ合いながら夢中になって楽しんでいました。乳児クラスの子ども達は餅つきを見学しながら、ちよっぴり杵を持たせてもらったり出来上がったお餅に触れて感触を味わい、「おもちたべたいなあ」と興味津々な様子でした。おやつにはお餅風のお団子が登場し、冬ならではの伝統文化を五感で味わった子ども達でした。

